

アルベルト・ヴェルナー (明治25ー昭和59) Albert Werner 1892-1984



家具職人としてマイスターを目指し、諸国を遍歴した。松山と板東で捕虜生活を送り、1919(大正8)年12月に解放される。大阪市の内外信託商事株式会社と解放前に月俸250円(約90万円)で契約(1919年11月14日付)している。後に大阪で公文書翻訳の仕事を得て、その関係で大森キクノと出会い1925年に結婚し、その後に上京。1925年に東京丸の内ビルに貿易事務所(Mercator Trading Co., Tokyo)を構え、中南米など多くの国に歯科医療機器を輸出した。また東大医学部の教授陣に翻訳や通訳を提供していた。

1935(昭和10)年には歯科医語の辞典を日本人と共著で刊行する。

1942年に帰化を果たすことができたが、92歳で亡くなるまでドイツの地を踏むことはなかった。

(松山俘虜収容所→板東俘虜収容所)